

## 1 市の概要（H30年度）

人口	76,423 人
保護率	0.75%

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	11.9
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	0.4
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	0.4
就労・増収率(%)	50.0

## 4 事業実績（H30年度）

### 参加対象者数

	参加対象者数
生活困窮	41名（小学生27名、中学生14名）
生活保護	4名（小学生3名、中学生1名）

※会場 5か所

## 5 事業実施のポイント ～生活困窮世帯に限定しない教室での実施～

### Point

「おさらい教室」は子どもの学習・生活支援事業を開始する前から展開されており、一般世帯も参加している。生活保護世帯や生活困窮状態世帯だけを対象としていないため、生活保護世帯などのプライバシーが守られている。

## 3 実施方法について

実施方法	①単年度契約 ②随意契約
事業費	1,838,500円（平成30年度）
理由 (委託)	シルバー人材センターでは、教職員経験者が子供の理解度に応じた個人指導による日常生活の補習を行い、自信をつけ、学習意欲を引き出すことを目的とした「おさらい教室」を自主事業として展開しており、経験や実績を有していた。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターが実施している「おさらい教室」（小学生：国語・算数、中学生：英語）において、生活保護世帯や生活困窮状態にある世帯の児童及び生徒に対する学習の支援を実施。</li> <li>・年2回、学校を通して対象者あて参加募集を実施。希望する対象者から申請を受け付けた後に、シルバー人材センターと調整の上、学習支援の利用を決定し、通塾を開始。</li> </ul>

## 6 取り組んで良かったこと

- 参加者は楽しく学習に取り組んでいる。
- 勉強する習慣（雰囲気）が身についてきた。（先生の感想）
- 参加者（保護者）のニーズを確認できた。

